



不当処分、怒り爆発、提案で怒す

日刊動労千葉

80.6.11
NO. 453

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話)二二七二〇七

不当処分、運転保安問題で当局を追及!

六月九日、国鉄当局は、今年度夏季輸送に伴う各区の具体的労働条件を提示すべく団体交渉を設定してきた。夏季輸送計画については、五月二十三日計画の概要提案の席上①選別の不当処分策の動向の中で、当局側の見解を明らかにすること。②内房線の線路改善にむけた具体的な施策の明示、以上二点を中心に組合側の主張を展開してきた。こうした交渉経緯をへて行われた交渉は、五月三十一日国鉄当局の行った不当処分通告への動労千葉各支部の怒りが爆発した。

理不尽な処分を行ってなにが夏季輸送か!

交渉は夏季輸送の具体的提示に入る前に、組合側より五月二十三日時点の交渉の席上申入れた二点について改めて追及を行った。

①、国鉄当局が一方的に労資関係を破壊する暴挙を行っておきながら組合側に夏季輸送に協力してくれということとは当局の姿勢を変えるということか。

②、交渉事案の合意となる処分撤回の前提がない以上、協力出来る筋のものではない。

③、組合側の主張について、具体的な見解なり方向が示されない限り、夏季輸送を含め全ゆる交渉案件について協議・合意する基盤がない。

以上を中心とする組合側の指摘に対し、当局側は「処分に対する考え方は六月二日申し上げたとおりであり、処分は処分、行事は行事でお願いしたい」「労資の合意がなければ出来ないことは、充分承知している」「協力してほしい」ということのみで終始した。

夏季輸送まで直せるのか、内房線の劣悪線路!

つづいて動労千葉は、管内の線路悪化とりわけ、現実に連日の列車遅延を現出している、内房線の線路改善の具体的施策の明示を強く迫った。

これに対し、当局は「線路は必ずしも良くないことは理解している。長期計画の中で随時改善すること而努力したい」「そのことも含めて軌道検測車の運行に協力してほしい」等と繰り返すのみであった。

現在でも、悪いと認めている内房線に、抜本的改善をせぬままに特急・急行の増発をもって夏季輸送を実施しようとする当局施策の中に、運転保

安をかえりみず、営利優先主義を先行させる無謀な当局の姿をみてとることができる。

交渉は、労資関係を一方的に破壊し、運転保安をかえりみない国鉄当局の姿勢に怒りと抗議が集



中し、最終的に当初、当局が予定していた「夏季輸送計画に伴う労働条件」の提案に至らず終った。

全組合員のみなさん!

現在、闘い抜いている非協力闘争のさらなる強化をかちとるとともに、全ゆる場をおして「五・三一処分攻撃」の不当性と、千鉄局長秋山の反動ぶりを満天下に明らかにし、闘いの高揚をつくりだそう!

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

全国区
社会・現
日教組出身

かすや照美 (粕谷) てるみ

千葉地方区
社会・現
県労連顧問

赤桐操 あかぎり みさお